

2023（令和5年）年度ペットフード産業実態調査の結果について

一般社団法人 ペットフード協会

ペットフードメーカーなど、93社（正会員52社、賛助会員41社、2024年11月1日現在）で組織する一般社団法人ペットフード協会【東京都千代田区、会長：児玉博充】は、2023（令和5）年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）ペットフード産業実態調査を行い、その結果が以下の通りまとめられました。詳細に関しては別紙資料をご参照願います。

調査の結果、ペットフード産業の出荷総額は434,922百万円で、対前年度比は112.2%と、8年連続での増加となりました。

出荷量は、573,340トンで、対前年度比97.8%と減少しました。

会員各社は付加価値の高い商品開発及び値上げの影響により昨年に引き続き二桁成長を継続いたしました。

主要点は以下の通りです。

1. 出荷金額：用途別

犬用の出荷額は対前年度比111.5%と増加し、猫用の出荷額も対前年度比113.6%と増加しました。

犬・猫用を除く、その他のペット用も出荷額は、対前年度比99.4%と減少しました。

2. 出荷金額：製品タイプ別

犬用は全体の54%を占めるドライタイプの出荷額は対前年度比118.4%と増加しました。

全体の15%を占めるウェットタイプの出荷額は対前年度比104.3%と増加しました。

猫用は全体の48%を占めるドライタイプの出荷額が対前年度比112.5%と増加しました。

全体の46%を占めるウェットタイプの出荷額は対前年度比114.3%と増加しました。

3. 出荷数量：国内生産品と輸入品別

国内生産品の出荷量は対前年度比100.1%と横這いでした。輸入品の出荷量は対前年度比94.9%と減少しました。

4. 出荷数量：用途別

犬用の出荷量は対前年度比 97.2%と 8年連続 減少し続けている。猫用の出荷量は昨年
に続き 98.5%と減少した。

犬・猫用を除く、その他のペット用の出荷量は対前年度比 94.3%と減少した。

5. 出荷数量：製品タイプ別

犬用は全体の 65%を占めるドライタイプの出荷量が対前年度比 96.6%と昨年に続き減
少しました。全体の 13%を占めるウェットタイプの出荷量も対前年度比 94.7%と減少
しました。

猫用は全体の 64%を占めるドライタイプの出荷量が対前年度比 100.8%と前年に続き増
加しました。全体の 34%を占めるウェットタイプの出荷量は対前年度比 93.9%と減少し
ました。

6. 出荷数量：国内生産品 用途別

国内生産犬用の出荷量は対前年度比 98.7%と昨年に続き減少しました。

国内生産猫用の出荷量は対前年度比 102.0%と増加しました。

国内生産のペットフード合計は対前年度比 100.1%と横這いでした。

7. 出荷数量：輸入品

輸入品犬用の出荷量は対前年度比 95.6%と昨年に続き減少、輸入品猫用の出荷量も
対前年度比 93.9%と昨年に続き減少しました。

輸入品のペットフード合計は対前年度比 94.9%と 昨年に続き減少しました。

8. 国別輸入数量

今年度、国別輸入量での最大の輸入国はタイ、アメリカ、オーストラリアの順でした。

輸入国増減率では、オランダ、イギリス、カナダからの輸入量が増加しました。

一方、タイ、アメリカ、オーストラリア、フランス、韓国、中国、チェコ、オーストリ
ア、ポーランド、ニュージーランドからの輸入量は減少しました。

以上